

令和3年度

新住民の声の把握

調査報告書



令和4年4月



目次

I 概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象者(モニター)	2
3 実施期間	2
4 調査手法	2
II 調査内容	3
1 寝屋川市に転入してきた理由	3
2 転入前での寝屋川市の施策・事業等の情報の取得手段	3
3 転入前に抱いていた寝屋川市のイメージ	4
4 魅力を感じる施策、興味がある施策	4
5 寝屋川市の良い点	5
6 寝屋川市の課題	6
7 公園に満足している点	7
8 公園の課題	8
9 歩行者道路の課題	9
10 前に住んでいたまちと寝屋川市との比較	10
11 転入などの手続をした時の市役所の対応	11
12 子育て支援事業における職員の対応	12
13 子育て事業の認知度	13
14 おすすめできる・できない子育て支援事業	14
15 今後、寝屋川市で住んでいくに当たり興味をもっていること	15
16 寝屋川市の子育て環境を各回5点満点で採点	16
17 寝屋川市に住み続けたいか	17
III 総括	19

I 概要

1 調査の目的

本市では、子育て世代の誘因につながる対外的訴求力の高い様々な施策を積極的に推進しておりますが、子育て世代を誘引して施策の成功ではなく、実際に本市に住んで、「住みやすさ」「子育てのしやすさ」「様々なサービス」から満足して頂くことが重要である。

本市を選んだ子育て世代(新住民)が、本市での住み心地や暮らしにどの程度満足しているのか、何に関心を持たれているのか、これらを年間を通じて定期的に把握するとともに、新住民の課題・ニーズ等を把握し、転出の抑制や市民満足の向上につなげる。

【仮説】

これまでに行った市調査での結果から以下の仮説を設定し、新住民の意識やニーズの把握を行った。

転入者(子育て世代)は、本市に実際に住んでみて、転入前に抱いていた本市への期待やイメージに対し不満やギャップを感じているのではないかと。

その主な内容は、子育て世代が重視すると考えられる「安全・安心(治安)」「子育て環境(公園)」「歩行者にやさしい道路整備」ではないかと。

※ 参考

◆市民意識調査(30代抽出)

・「歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思うか」否定的意見が上回る

R2 肯定的 18.5% 否定的 56.5%、H30 肯定的 19.2% 否定的 63.8%

H29 肯定的 12.9% 否定的 62.9%

・「犯罪が少なく、安全なまちか」否定的意見が上回る

R2 肯定的 21.7% 否定的 51.6%、H30 肯定的 9.2% 否定的 76.9%

H29 肯定的 9.7% 否定的 69.4%

◆第2期寝屋川市子ども・子育て支援事業計画作成に係るニーズ調査（平成30年度）

・充実してほしい子育て支援サービス（複数回答可）

1 公園などの屋外施設の整備 64.6%、2 子どもの安全を確保する対策 61.1%

・地域における子どもの遊び場に関する満足度は「満足していない」が上回る

満足している 24.5% 満足していない 36.6%

◆転入者アンケート（令和2年度）

・生活環境について、どの項目に期待するか（子育て世帯抽出）

1位 事件や犯罪が少ない、2位 医療施設の充実、3位 道路の整備や交通安全

◆電話によるアンケート調査（令和2年度）

・日頃の不便や困りごとで最も多かった項目：道路、信号に関すること

2 調査の対象者(モニター)

本市へ転入間もない未就学児を持つ子育て世代 20人

3 実施期間

第1回 令和3年6月16日～令和3年6月27日

第2回 令和3年9月27日～令和3年10月11日

第3回 令和4年1月18日～令和4年1月31日

4 調査手法

モニターが登録したメールアドレスにアンケート回答用のURLを送付



II 調査内容

1 寝屋川市に転入してきた理由

Q 寝屋川市に転入してきた理由は何ですか【モニター募集時】

子育て環境の良さなど、自らの意思で寝屋川市を選んでいる方が多数

「マイホームの購入」「寝屋川市で生まれ育ったから」「子育て世代に良いと聞いたから」など、自らの意思・選択(積極的理由)により、本市を選んだ新住民が11名おられ、本市のサービス等に魅力を感じ転入されていることも考えられる。

積極的理由	
マイホームの購入	4
寝屋川市で生まれ育ったから	3
子育て世代に良いと聞いたから	3
保育園に入るため	1
小計	11
消極的理由	
親との近居	5
転職、転勤、家族の事情	4
小計	9
合計	20

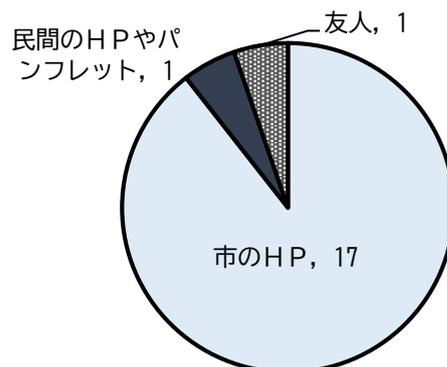
2 転入前での寝屋川市の施策・事業等の情報の取得手段

Q 転入前に市の施策やまちの情報をどんな手段、どんな場所で取得しましたか【第1回】

転入前での寝屋川市に関する情報は、市ホームページからの取得が多数

転入前での本市に関する情報収集は、市ホームページから取得している方が多数である。

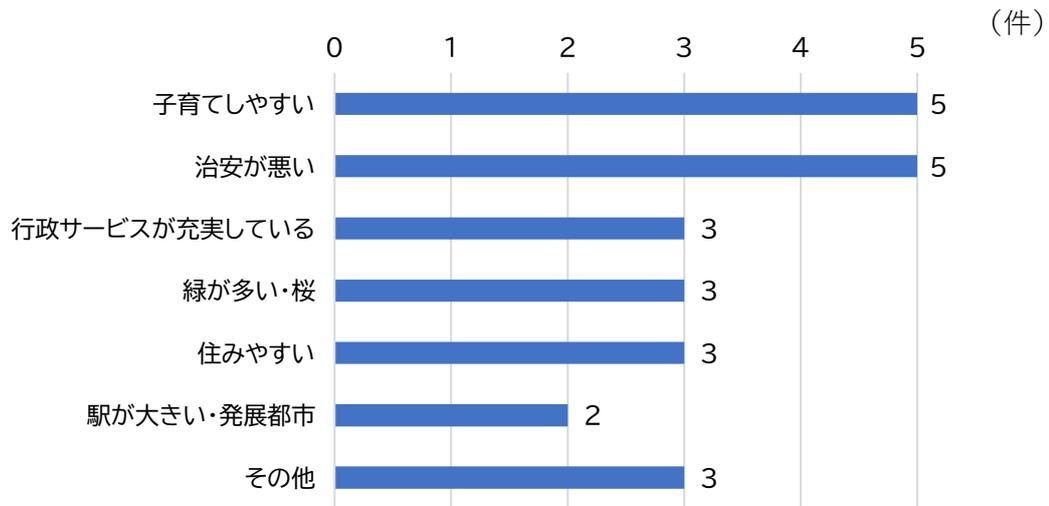
まち選びの際、市ホームページは大きな役割を果たしていることが考えられる。



3 転入前に抱いていた寝屋川市のイメージ

Q 寝屋川市のイメージを自由に記述してください【モニター募集時】

「子育てしやすい」「行政サービスが充実している」など、全体的にプラスのイメージを持たれている方が多い。一方、「治安が悪い」というマイナスのイメージを持たれている方もおられる。



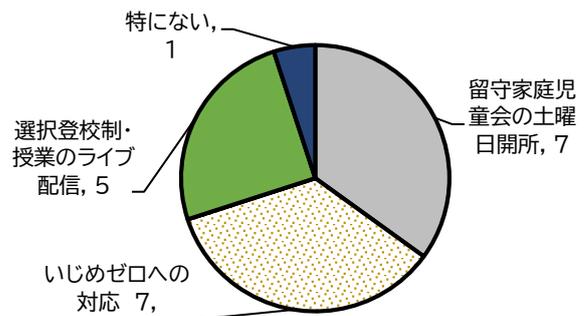
※その他 … 魅力がない、わからない 等

4 魅力を感じる施策、興味がある施策

Q 魅力を感じる施策、興味がある施策を選んでください【第1回】(複数回答)

いじめゼロへの対応、留守家庭児童会の運営など、未就学児と就学児に共通する生活環境的な項目に興味・関心

「留守家庭児童会」「いじめ」など、子どもの将来の生活環境に対しては、関心が高いことが考えられる。



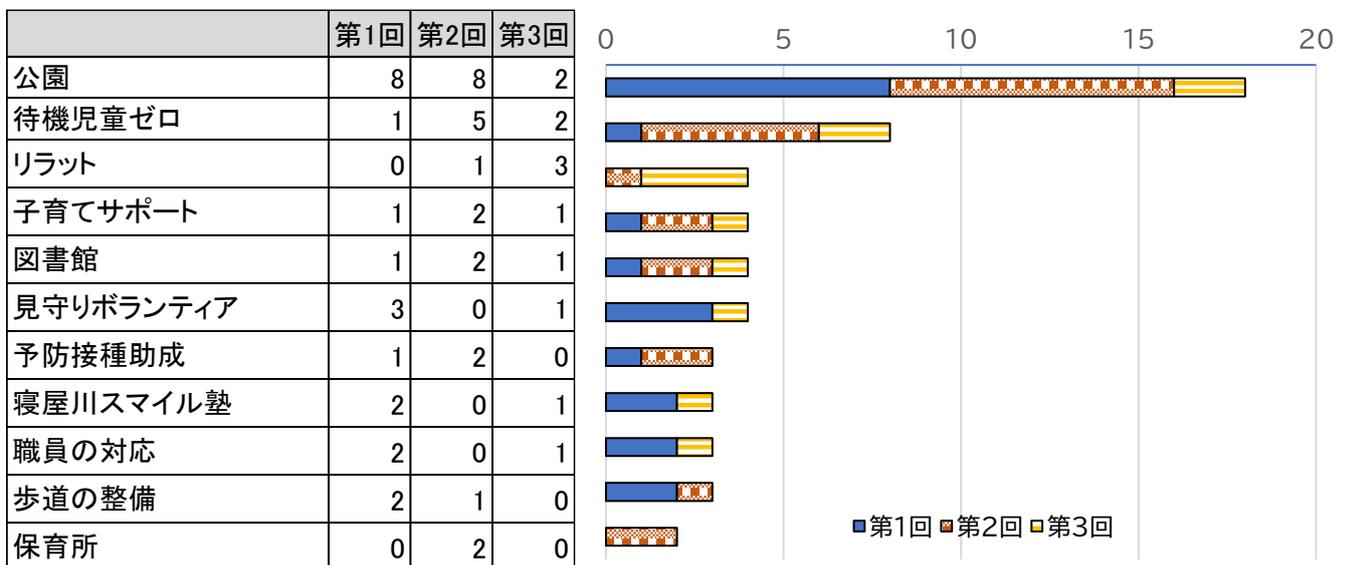
5 寝屋川市の良い点

Q 本市の良い点、おすすめできる点を記述してください【第1回～3回】

公園に対して評価が顕著に高く、次いで、待機児童ゼロ、リラット、子育てサポートなど、未就学児を対象とするソフト、ハードのサービスに対して評価

3回の調査を通して、「公園」を良いとする評価が顕著であり、その内容は、数の多さ、大きい公園があるとの意見が多い。

次いで、待機児童ゼロ、リラット、子育てサポートなど、子育てに関する施策・事業について評価されており、転入前に抱いていた「子育てしやすい」というイメージと合致していることが考えられる。



- ※ 公園 … 公園が多い。大きい公園がある。公園がきれい。緑が多い。
- ※ 見守りボランティア … 登下校時
- ※ 保育所 … 保育所の先生の対応

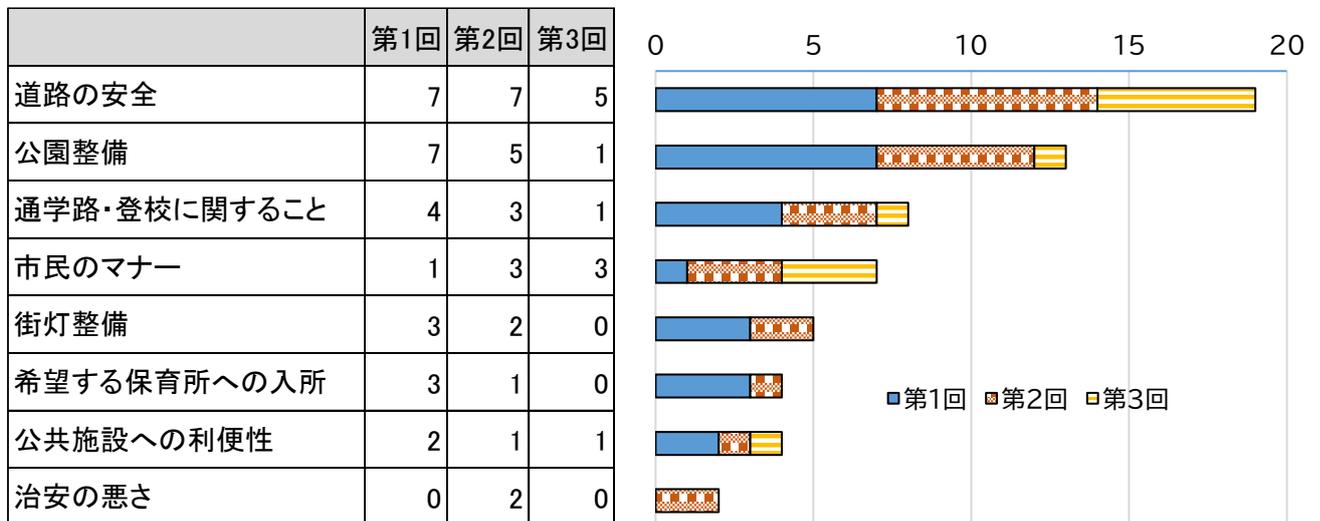
6 寝屋川市の課題

Q 寝屋川市の良くない点、おすすめできない点を記述してください【第1回～3回】

道路、公園、通学路など、子どもにも関係するハード面に対しては意見が多い。

道路、通学路の安全性など、子どもの安全・安心につながる事項について関心が高く、現在、就学児を持たない方であっても、将来のことを考え、通学路に関しては関心が高くなっている。

また、この設問においても公園への関心の高さがうかがえる。



- ※ 道路の安全 … 舗装されていない。信号、カーブミラーが少ない 等
- ※ 公園整備 … トイレが汚い、雑草、親同士が交流できる魅力的な公園がない等
- ※ 通学路・登校に関すること … 通学路の安全性
- ※ 市民のマナー … 自動車の危険運転、交通マナー

7 公園に満足している点

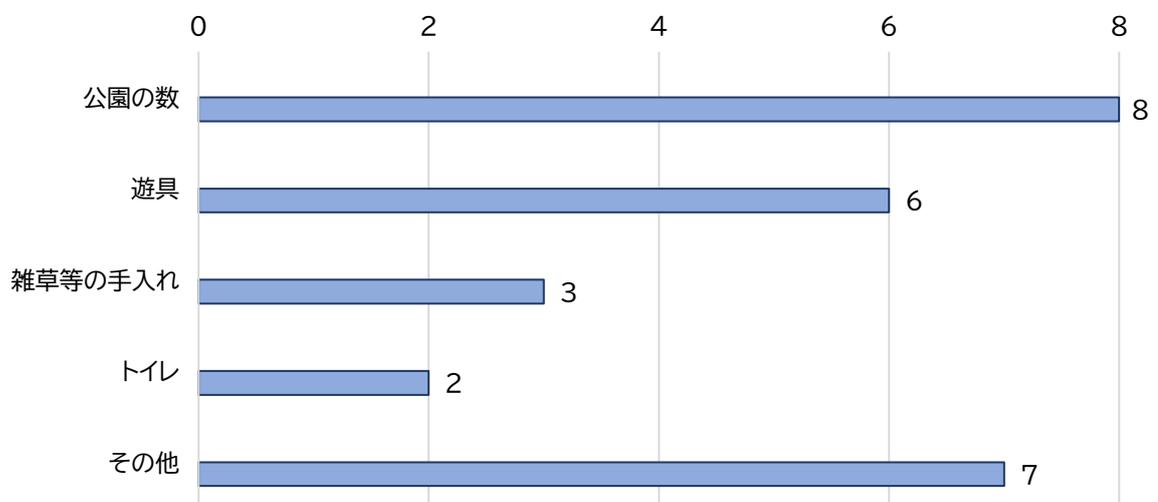
第1回アンケートにおいて、公園への関心の高さがうかがえたことから、第2回アンケートにおいて、その詳細な内容の把握を行った。

Q 身近な公園について満足していることを選んでください【第2回】(複数回答)

公園の数、遊具には満足

新住民からは、「小さな公園がたくさんある」という意見が多く、公園の数に関しては満足されており、これは過去の市民向け調査からも同様の結果がうかがえる。

一方、公園の内容（トイレ、遊具、雑草の手入れなど）については、その充実を感じている子育て世代が多いことがうかがえる。



※ その他 … 水道がある、満足しているところはない

※ 市民意識調査 30代の「身近に公園、緑地があるか」

「あると思う」という意見 H30 55.4%、H29 51.6%

※ 第2期市子ども・子育て支援事業計画作成に係るニーズ調査（平成30年度）

「充実してほしい子育て支援サービス」として「公園などの屋外施設(1位 64.6%)」

8 公園の課題

第1回アンケートにおいて、公園への関心の高さがうかがえたことから、第2回アンケートにおいて、その詳細な内容の把握を行った。

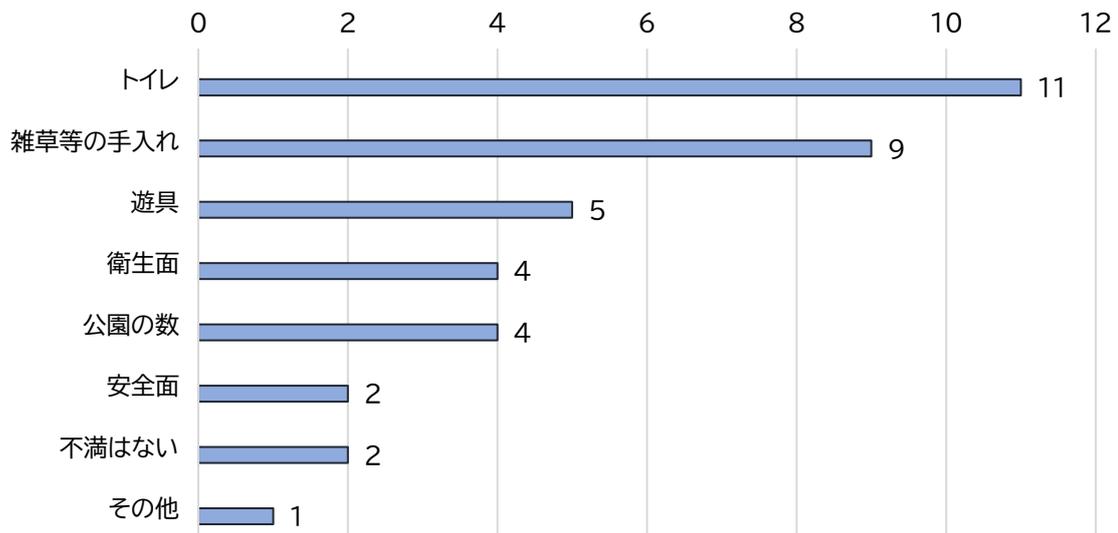
Q 身近な公園について不満な点を選んでください【第2回】(複数回答)

公園のトイレ、雑草等の手入れに対しては意見が多い。

公園のトイレがないことや、トイレはあるものの汚れており使えないという意見もあり、子育て世代にとって長時間過ごす公園に、気持ちよく利用できるトイレがあるかは切実な問題であることがうかがえる。

また、背丈の小さい子どもにとって、雑草の手入れがされていない公園で遊ぶことは危険ですらあること、遊びたいという気持ちの低下につながることも考えられ、新住民は公園の雑草について敏感に感じ取っていることがうかがえる。

これらは、新住民にとって公園への関心が高いがゆえ、公園の環境に対しても敏感であることが考えられる。



※ トイレ … 公園にトイレがなく困っている、トイレが汚い、トイレにおむつ台がない

※ 安全面 … 寝屋川公園に未就学児が安全に遊べるエリアがない

9 歩行者道路の課題

第1回アンケートにおいて、道路の安全性への関心の高さがうかがえたことから、第2回アンケートにおいて、その詳細な内容の把握を行った。

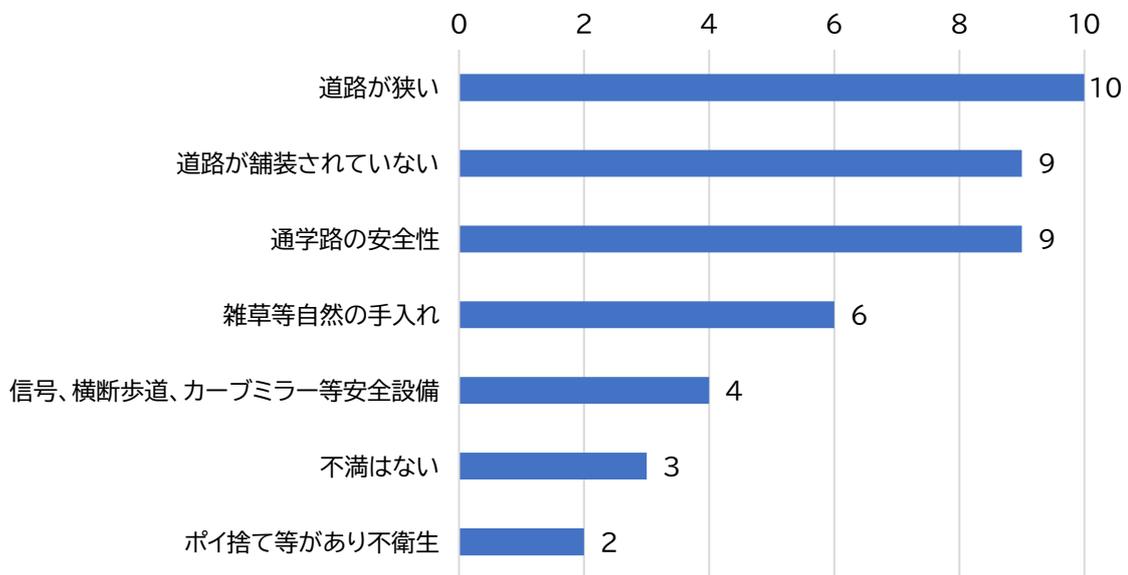
Q 歩行者道路について不満な点を選んでください【第2回】(複数回答)

道路の狭さ、整備等に対しては意見が多い。

「道路が狭い」「舗装されていない」「通学路の安全性」など、子どもを育てる上で歩行者道路の安全性への意見が多い。

未就学児を持つ子育て世代はベビーカーや子どもを乗せて自転車を利用する機会が多いため、道路の狭さや舗装については、特に敏感に感じ取っていることがうかがえる。

「通学路の安全性」については、将来、子どもが通学することをも見据え、不安を感じていることが考えられる。



- ※ 道路が狭い … 自転車や自動車に危険を感じる。
- ※ 道路が舗装されていない … ベビーカーが使いにくい、道路がガタガタ、子どもを乗せて自転車で走り辛い
- ※ 通学路の安全性 … 通学路にカーブミラーやガードレールがなく危険

10 前に住んでいたまちと寝屋川市との比較

Q 前に住んでいたまちと寝屋川市を比べて、子育てする上で感じることを自由に記述してください【第1回～3回】

前に住んでいたまちと比較して、公園の多さ、アプリでの子育て情報、通学路の見守り、オンライン授業等の施策・事業に対しては満足
一方、歩道の整備、公園の環境、路上駐車など、子どもの安全・安心につながるハード面に対しては意見が多い。

公園、市からの情報発信、オンライン授業等の市独自事業に対しては、前のまちよりも本市を評価する意見が多く、一方、子どもに関わるハード面、安全・安心については厳しい意見が挙げられている。

【主な意見の抜粋】

プラス意見

- ・公園がたくさんある。
- ・アプリで子育て情報が送られてくる。
- ・電子申請ができとても便利
- ・インフルエンザの補助
- ・通学路の見守り（ボランティア）
- ・絵本のプレゼント
- ・オンライン授業やスマイル塾
- ・小学校の集団登校

マイナス意見

- ・歩道が舗装されていない。
- ・公園が整備されていない。（雑草・狭い）
- ・路上駐車がが多く、危険なため、子どもを一人で遊ばせるのが不安
- ・車で行ける子育て施設が少なく、利用する機会が減った。
- ・前のまちは多子世帯、多胎妊娠中等の子育て支援があった。

11 転入などの手続をした時の市役所の対応

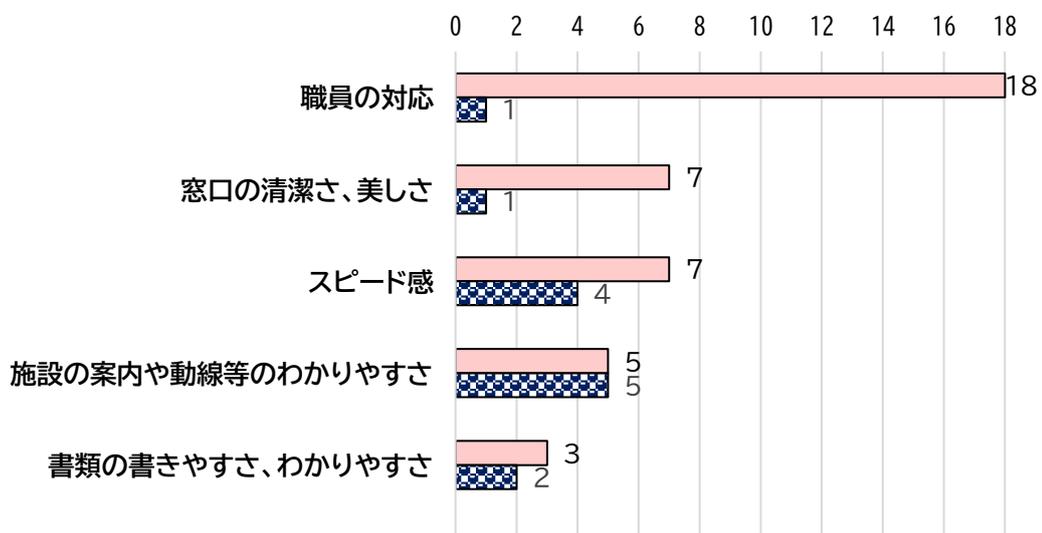
Q 転入などの手続の時、市役所の対応で良かった点、悪かった点を選んでください【第1回】(複数回答)

職員の対応を始め、清潔感、スピード、導線など、市役所窓口を中心とする各種対応・取組に対して好印象を持たれている。

第一印象は、強く、長く心に残るため、常に市民に寄り添った対応を行うことが重要である。

そのような中、多くの新住民（19人中18人）が、職員の対応を良いと評価されており、職員が適切に市民対応を行っていることが、新住民にとって市役所への好印象につながっていることが考えられる。

窓口の対応「良い」「悪い」の比較



□ 良い ■ 悪い

12 子育て支援事業における職員の対応

Q 市の子育て支援事業を利用する中で、職員の対応で良かった点、悪かった点を自由に記述してください【第2回】

子育て支援については、職員がしっかり寄り添って相談対応等を行っており、新住民全員が好印象を持たれている。

子育て支援事業において、新住民全員が職員の対応・印象が良かったと評価されている。

また、印象が良かった点については、電話対応、新生児訪問、保育園の申込手續など、様々な対応に好印象を持たれており、子育て支援事業にかかわる職員が適切に市民対応を行っていることが評価としてつながっていると考えられる。

【主な意見の抜粋】

印象が良かったこと

- ・電話で何度同じ内容を問い合わせても親切に対応してくれた。
- ・新生児訪問では、親身に話を聴いてくれた。
- ・ひとり親で受けられる支援をわかりやすく教えてくれた。
仕事探しの時にも親身になって聞いてくれたので、これから頑張ろうと思えた。
- ・保育園の申込手續の際、ていねいに対応してくれた。
- ・転入手続を詳しく教えてくれた。
- ・丁寧な対応で気持ち良かった。
- ・いつも丁寧に説明してくれ、子どもにも優しく対応してくれる。

印象が悪かったこと

- ・なし

13 子育て事業の認知度

Q 市の子育てや教育に関する事業の中から知っている取組を選んでください
【第3回】(複数回答)

中央図書館、医療助成、いじめ対応、授業のライブ配信については、認知度が顕著

子育て世代に訴求力の高いと考えられる施策・事業について、その認知度の把握を行った。

中央図書館の開設、いじめへの対応、授業のライブ配信については、様々な機会・媒体を通じて情報発信していたこと、また、子ども医療費の助成については、家計への経済的な負担軽減にもつながることから、新住民の中で関心や認知度が高い結果になったと考えられる。



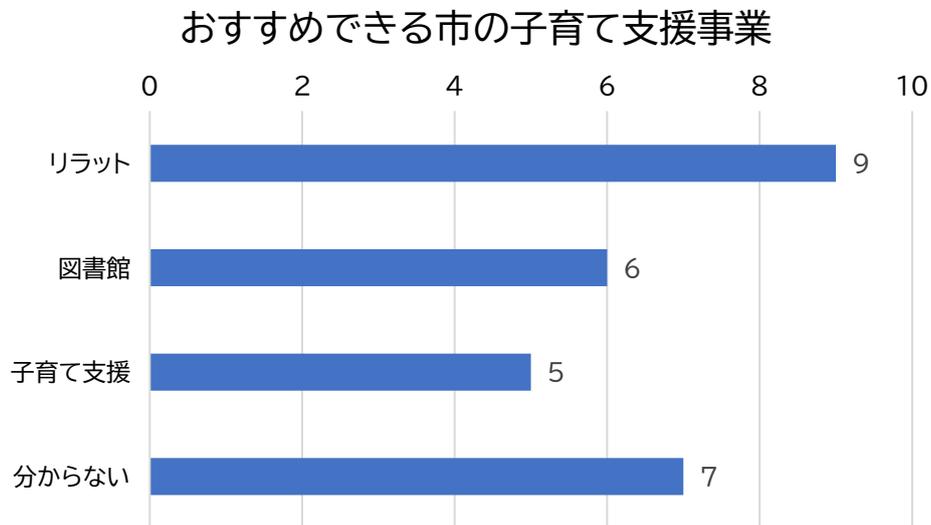
14 おすすめできる・できない子育て支援事業

Q 市の子育て支援事業のうち、他市と比較しておすすめできるもの、おすすめできないものを記述してください【第2回】

本市の子育て支援事業を評価。特に図書館、リラットの評価は顕著

他市と比較しておすすめできるものとして「リラット」「図書館」が高評価を得た。子どもと遊び、学ぶことができる施設、場所、機会は、子育て世代にとって欠かせないものであり、そのような施設の居心地、使い心地が良ければ、“他市と比較しておすすめできる子育て支援事業”となることが考えられる。

一方、おすすめできない子育て支援事業は「ない」が大半を占め、他市と比較して、より良い施策・事業の推進が図られていることが考えられる。



※ 子育て支援…こどもセンター、ファミサポ、助産師訪問、病児保育、保育園

【おすすめできない市の子育て支援事業】

- ・無い 15
- ・その他 2 ※ 図書館の利便性 等

15 今後、寝屋川市で住んでいくに当たり興味をもっていること

Q 今後、寝屋川市に住んでいくに当たり、どのようなことに興味を持っているか自由に記述してください【第3回】

子どもとの遊び場、地域等の催しに関心

公園や遊び場、子育て支援など、子育てをしていく上で必要な場所、サービスを始め、新たなまちに住むに当たり、地域のイベントや行事、また、防犯対策を始めとする安全・安心、小中一貫校など、子どもに関連する本市の取組に対し、興味・関心を持たれていることが考えられる。

【主な意見の抜粋】

- ・公園、休日の遊び場、子育て支援
- ・保育・学校行事の充実、夏祭りなど地元のお祭り
- ・小中一貫校、防犯対策、市駅前庁舎



16 寝屋川市の子育て環境を各回5点満点で採点

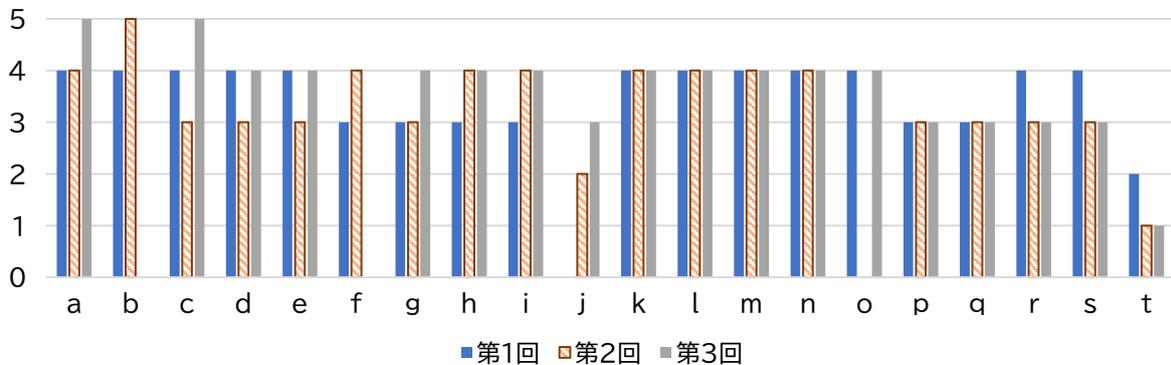
Q 寝屋川市の子育て環境を採点してください【第1回～3回】

子育て環境については、各回の調査を通して満足されている方が多数

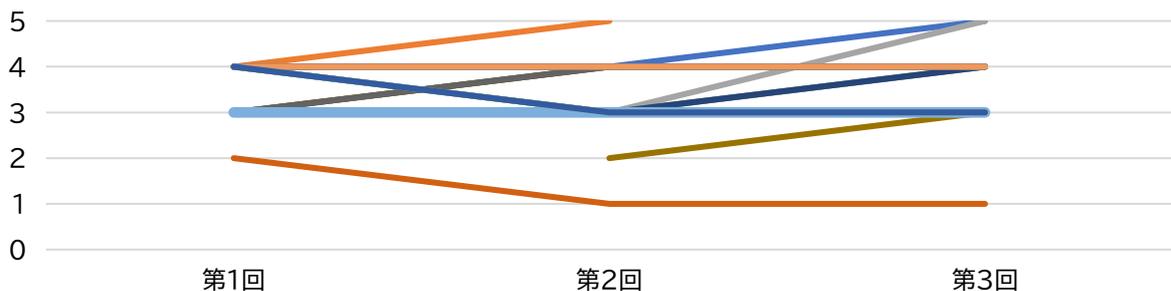
本市の子育て環境を満点とされる方がおられるなど、3回の調査を通じ、評価が下がっていくという意識の変化は見られず、「本市に実際に住んでみて、転入前に抱いていた本市への期待やイメージに対し不満やギャップを感じているのではないか」という仮説は、調査期間内では顕著に見られなかった。

なお、1点の採点者(表中 t)については、「転職」をきっかけに転入しており、前のまちの方が、「歩道が整備されており子どもとの散歩がしやすかった」「駅直結の子育て支援センターがあった」等と評価されている。

各モニターの点数



モニターの点数の推移



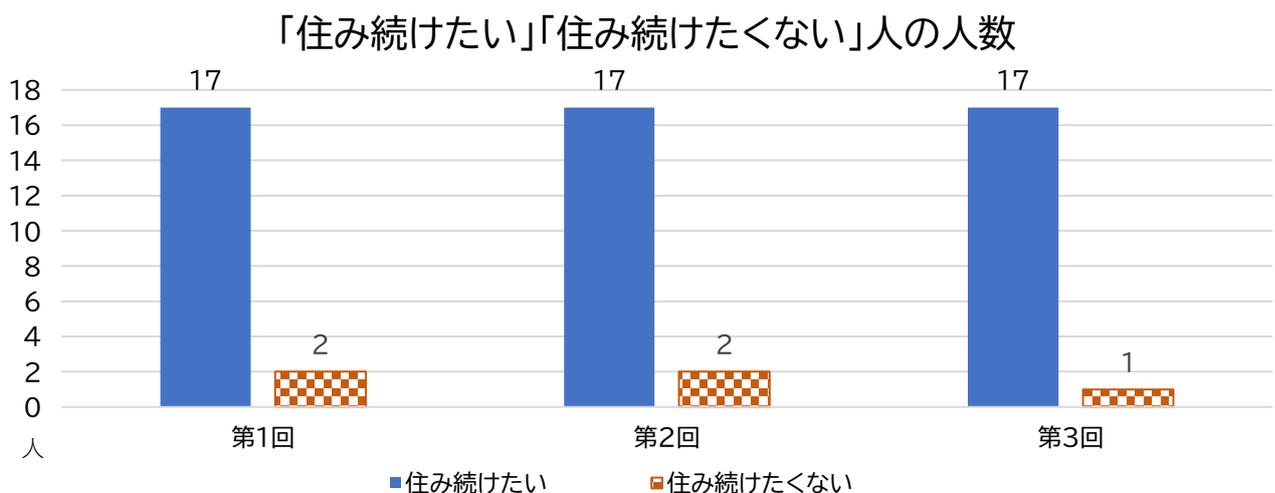
17 寝屋川市に住み続けたいか

Q あなたは現時点で寝屋川市に住み続けたいと思いますか【第1回～3回】

各回の調査を通して、主に子育て環境の充実、生活圏域内の利便性の観点から、「住み続けたい」という意見が多数

公園や歩行者道路について不満を感じているものの、安定して17名が「住み続けたい」を選択しており、3回の調査を通じ、評価が下がっていくという意識の変化は見られず、「本市に実際に住んでみて、転入前に抱いていた本市への期待やイメージに対し不満やギャップを感じているのではないか。」という仮説は、調査期間内では顕著に見られなかった。

また、「住み続けたくない」を選択している方のうち1名は、本項目で毎回同様の回答をしており、転入のきっかけが「転職・転勤」とやむを得ない理由から起因しているものと考えられるが、この方にとっても「住み続けたい」と感じて頂けるまちづくりを進めることが重要である。



【住み続けたい理由（主な意見抜粋）】

1回目 主に子育て環境や前のまちとの比較について評価されている方が多い。

子育て環境

- ・子育てに力を入れているのがわかる。
- ・子育てに関して様々なサービスがある。
- ・子育てする環境が良い。
- ・子育て世帯にとって住みやすく引越ししてきてよかった。
- ・多胎児家庭など少数ながら細やかな支援に好感

以前住んでいたまちとの比較

保育所に入りやすい、まちの雰囲気活発、家庭ゴミの回収頻度が多い。

その他

小中一貫校への期待、市役所が明るくきれい、生活範囲で必要なものが揃ってる。

2回目 主に生活上での利便性や、教育等の取組について評価されている方が多い。

- ・出産後の市からのフォローや情報提供、サービスが充実
- ・生活範囲で必要なものが揃っている。
- ・職員の対応が親切・丁寧、小中一貫校、自然豊か
- ・学習（スマイル塾、英会話）に対する取組 等

3回目 主に生活環境、子育てについて評価されている方が多い。

- ・子どもがのびのび過ごせそうだから
- ・周囲の人、職員が親切だから
- ・住み心地がよく子育てしやすい。
- ・小中一貫校に期待しているから
- ・静かで環境が良いから 等

【住み続けたくない理由（主な意見抜粋）】

- ・歩道が狭く、車の交通マナーが悪いため、子どもと安心して散歩ができない。
- ・公園はペットの糞の放置や雑草が生い茂っており、子どもが行きたがらない。

Ⅲ 総括

子育て環境に満足。本市に住み続けたいと感じている方が多数

3回の調査を通じて、本市に住み始めてから、子育て環境及び本市に住み続けたいという意識（評価）について、調査期間内では大きな変化は見られず、満足されている方が多数であった。

新住民の意識は、時間の経過と共に、前のまちとの比較→生活圏域での関心→市の施策・事業への関心へと移行

3回の調査を通じて、本市に住み続けたいと思う方が多数であり、まずは前のまちとの比較、次に身の回り（生活圏域）のこと、そして市全体の取組やサービスについて興味・関心が高くなり、時間の経過と共に、新住民の評価対象の意識が広がっていくことが考えられる。

公園、歩行者道路への意見

今回の調査では、新住民は、転入前に抱いていた本市への期待・イメージとのギャップや転入前のまちとの比較から、「公園」「歩行者道路」については関心が高いことがうかがえ、公園についてはトイレ・雑草の手入れに対して、歩行者道路については舗装等に対して、通学路については安全性に対しての意見が多く見られた。

まずは子どもの安全・安心

未就学児を持つ子育て世代の関心は、子どもの就学等の将来の展望にまで至っていないことが考えられるものの、通学路の安全性についての関心は高く、子どもの安全・安心をまずは確保してほしいという親の思いがうかがえる。

職員の対応を評価

多くの新住民が、職員の市民対応に満足されており、より一層満足していただくためにも、引き続き、市民サービス改革を全庁一丸となって着実に推進していくことが重要である。

**令和3年度 新住民の声の把握調査報告書
(令和4年4月)**

寝屋川市 経営企画部 企画二課

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号

TEL : 072-825-2019 FAX : 072-825-0761

URL : <http://www.city.neyagawa.osaka.jp>

E-mail : kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp